



Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 明海大学名誉博士称号授与
- 3 「MGO留学生サポートプログラム」文科省留学生就職促進教育プログラムに認定
- 4 歯学部2助教が受賞
- 5 令和4年度教員採用試験に12人が合格!
- 6 第35回明海祭
- 7 明海スポーツ
- 8 オープンキャンパス結果報告

学長年頭所感

2023年 明海大学の歩む道

学長 安井利一

2023年「癸卯」の新年を迎えました。「癸卯」には「これまでの努力が花開いて実り始める」との意味があるそうです。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会、自治体や企業をはじめとして明海大学を支援してくださる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年2022年も新型コロナウイルス感染症、特に変異株に振り回された一年でした。本学の建学の精神にある「国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」の象徴でもある学生の奨学海外研修は2020年からおよそ2年半ぶりに実施でき、浦安キャンパスではハワイ大学へ、坂戸

キャンパスの歯学部においてはメキシコ州立自治大学とテキサス大学の2大学への学生派遣を行いました。その他の米国2大学、中国2大学、イタリア1大学、フィンランド1大学には学生派遣ができず、これまで作り上げてきた信頼関係が薄れていくのではないかと不安を持たざるを得ない状況でありました。

しかし、その不安を払拭し学生の夢を実現するため、ハワイ大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、テキサス大学サンアントニオ校、そしてタフツ大学を訪問し、直接面談することで各協定校と今後の展望について共通理解を持つことができました。

2023年4月からの新年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況を的確に判断しながら、ハイブリッド教育の向上を図り、いかなる状況下でも教育の質を確保するよう十分な対応を行ってまいります。また、クラウド型教育支援システムを最大限に有効活用した、いわゆる「反転

流の授業展開」のさらなる促進、教育におけるPDCAの原点である各授業の教員自身による自己点検評価の実施、併せてすべての教育課程を「教育の質保証」と「求める道に進む就職力」に基づき見直します。さらに、データサイエンス、Society 5.0、そしてSDGsを踏まえた教育の充実を目的とし、2022年に認定された文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」及び「留学生就職促進教育プログラム」を推し進め、今後の社会を創出する人材の育成に取り組み、ステークホルダーの皆様にご満足いただけるような卓越した大学を確立すべく、歯学部、外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部の6学部8学科そして4研究科のますますの発展を教職員一丸となり実現する所存です。

加えて、体育会においては学生の自己実現を図る指導体制の確立、歯学部附属明海大学病院や埼玉、東京、浦安の各PDIでは新しい設備を揃えながら一層の安心安全な医療の提供をめざし、地域医療への貢献に努めてまいりますので、お力添えのほど宜しくお願いいたします。



安井利一学長

明海大学名誉博士称号授与

9月14日、宮田淳理事長より、王家馴氏(在日中国企業協会会長)に対して名誉博士の称号記が授与された。本学では、本学に著しい貢献を成した方、また本学の建学の精神にふさわしい学術、文化、社会または人類のための顕著な貢献を成した方に対し、名誉博士の称号を授与することとしている。

王氏は中国機械工業集団駐日首席代表、日本燕明株式会社社長、そして約140社からなる在日中国企業協会会長等の要職を歴任され、在日中国企業と日本企業などとの相互交流の促進に精力的に取り組まれ、多大なる功績を挙げられている。また、在日中国企業協会と明海大学は2020年12月に人的および知的資源の交流を図

り、教育、文化などの分野における連携を通じて相互の発展と日中友好に資することを目的として包括連携協定を締結し、以来、本学学生の就職等の様々な面で支援をいただいている。このような功績に基づき、名誉博士の称号を授与し、多年にわたる貢献を称えた。

宮田理事長からは王氏のこれまでの功績に感謝の意を表すとともに「本学は、中国からの留学生受入れや中国語学科での日中相互理解に富むビジネスマンの育成にも力を入れていま

す。今後、学生のインターンシップをはじめ、様々なご支援をいただきながら、さらなる発展をめざして参ります」と挨拶があった。明海大学はなお一層の交流や連携の発展に努め、建学の精神として掲げる「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざしていく。



左から安井学長、王会長、宮田理事長

宮田理事長、安井学長が米国の協定校3校を訪問

建学の精神である「国際未来社会で活躍する人材の育成」に基づき、大学全体で力を入れている奨学海外研修などの海外研修をはじめとした協定校との交流は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により2020年からの約2年半の間、滞っていたが、2022年夏季に海外研修は再開し、学生の相互交流が行われている。今回は交流再開の感謝とさらなる交流活性化を目的として、宮田淳理事長、

安井利一学長、そして姉妹校である朝日大学の友友克之学長が、10月7日から同15日まで、米国の協定校(カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)、テキサス大学サンアントニオ校およびタフツ大学)の3校を訪問した。

■カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)

UCLAの特色である教員から直接教授される生涯研修の中心となっているヘンリー タケイ先生をはじめ

研修部長の河津寛先生、UCシステム総長のジーン ブロック先生、そしてポール クレスバック歯学部長とお会いし、将来を見据えて今

後ともコミュニケーションを図りたいと意見交換をした。

■テキサス大学サンアントニオ校

ウィリアム ヘンリッチ学長の表敬訪問のほか、生涯研修で有名なピーター ルーマー歯学部長、ソイヤハーディン看護学部長とお会いし、州立大学ならではの多様な施設での学修機会、学生の研究意欲の高さ、国際歯科研究学会(IADR)での優秀な成績、そしてリサーチマインドの養成について興味深いお話を伺った。

■タフツ大学

交流を深めてきた歯学部の執行部の先生方は退任されていたが、グローバル・エデュケーション担当のジョン モーガン教授らとお会いし、これまでの両大学の交流や今後の学生交流、研究、そして生涯研修などについて議論した。

明海大学は、建学の精神に則り、今後も学生のため、教員のために国際化を強力に推進していく。



UCLAでの様子 宮田理事長(右から5番目)を囲むジーン ブロック UCシステム総長(左)とポール クレスバック歯学部長(右)

「MGO留学生サポートプログラム」が文部科学省の留学生就職促進教育プログラムに認定

本学で2023年度から実施する「MGO留学生サポートプログラム」を基に提案した教育プログラムが、文部科学省の「留学生就職促進教育プログラム」に認定された。「MGO留学生サポートプログラム」は留学生の社会的自立、職業的自立を促すため、日本語の能力に応じた日本語教育とキャリア教育を行い、日本企業に就職できる人材を養成する。また、インターンシップへの参加により職業意識を高め、入社後のミスマッチ

を防ぐことを目的としている。上記の取り組み内容が、文部科学省が定める「外国人留学生に対して提供される『日本語教育』『キャリア教育』『インターンシップ』を一体として提供する質の高い教育プログラム」として認められ、「留学生就職促進教育プログラム」に認定された。また、当プログラムの修了者に対し、大学が修了証明書を発行できるよう

MGO留学生サポートプログラム

日本での就職を希望する外国人留学生が、次の3つの教育プログラムを受講することにより、国内企業等への就職を一層促進します。

- 【日本語教育】**
 - 日本語能力試験N1の未取得者は、その取得を目指します。
 - 社会で使う（活かす）日本語を学ぶことができます。
 - ビジネスの世界で求められるコミュニケーションや実践的な日本語能力を身に付けることができます。
- 【キャリア教育】**
 - 適年採用ではなく一括採用が主流の日本式の就職活動の流れを理解し、必要な情報の取り方や応募活動の準備をします。
 - ビジネスマナーや企業・業界研究の方法などを学びます。
- 【インターンシップ】**
 - 日本企業での働き方や組織の特徴・慣習・常識を理解することができます。
 - 専攻のキャリアプランをイメージすることができるため、企業とのミスマッチを防ぐことができます。

になるため外国人留学生の国内企業などへの就職を一層促進していく。

メキシコ州立自治大学の学生10人が交換研修プログラムで来訪

歯学部では「国際的な歯科医師を育成する環境」を整え、海外協定校との相互交流に力を入れている。中でも、交換研修プログラムはその大き

な特色の一つで、在学中に諸外国の歯科医学の現状を学ぶことができるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎えることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムである。

このプログラムは2020年以降中断していたが、今夏から一部再開し、8月には5人の学生がメキシコ州立自治大学（以下、U A E M）での



申歯学部長(前列右から3人目)とメキシコ州立自治大学一行

研修に参加した。そして9月30日、交換研修として2年ぶりにU A E Mの学生10人と引率教員2人が、坂戸キャンパス（歯学部）を訪れた。

申基結歯学部長から、先月のU A E Mでの研修について感謝の意が述べられた後、午前には本学の研究、教育、国際交流についての講義、付属病院見学ツアーを実施した。昼の歓迎ランチパーティーでは、本学オリジナルの法被（はっぴ）に袖を通したU A E M学生らが写真撮影を楽しむなど、会場は和やかな雰囲気にもまれ、両校の学生同士で約1カ月ぶりの再会を喜び合った。

ヨルダン大使が浦安キャンパスを来訪

11月10日、リーナ・アンナブ駐日ヨルダン大使が浦安キャンパスを訪問した。アンナブ大使とヨルダンの外交官は、ホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）の内苑孝美学部長らと面会し、本学とヨルダンの大学との学術協力や交流について話し合い、学生・教員の交流による知識交換の方法や発展を模索する上で、大きな可能性があるとの認識で一致した。

その後、アンナブ大使はHT学部の2年生約100人に対しヨルダンをアピールする特別講義を行った。大使はかつて観光大臣をしていたこともあり、講義ではヨルダンの観光、文化、ホスピタリティ産業などを写真や動画で紹介し、特に大使自らPRに尽力した国家プロジェクトで、世界中のトレッカーから注目を浴びる「ヨルダントレイル」については、具

体的なエピソードを交えて熱心に語られた。また、講演後には質疑応答が行われ、学生からはヨルダンと日本の観光の違いなどについての質問があがった。



学生に向け講演するアンナブ大使

歯学部の松本大慶助教、湯川未郷助教が受賞

松本大慶助教 日本咀嚼学会優秀奨励賞受賞

10月1日と2日の2日間、徳島県徳島市の徳島大学蔵本キャンパス大塚講堂小ホールで開催された「特定非営利活動法人 日本咀嚼学会第33回学術大会」で、歯学部の松本大慶助教(有床義歯補綴学分野)が日本咀嚼学会優秀奨励賞を受賞し、表彰された。この賞は今後の咀嚼と健康に関する研究発展に寄与すると評価された論文を表彰するものであり、受賞論文では有床義歯装着高齢者の感じる味覚機能の特性について明らかにした。松本助教からは今回の受賞に



松本助教(左)と志賀博日本咀嚼学会理事長

ついて「このような名誉ある賞をいただくことができ、大変光栄です。ご指導いただきました諸先生方に心より感謝申し上げます」と喜びの声が聞かれた。

論文題名: 有床義歯装着高齢者の味覚機能 (日本咀嚼学会雑誌 第31巻2号 58-71,2021.)

湯川未郷助教 優秀演題賞受賞

10月5日から7日、大阪国際会議場で開催された「第81回日本矯正歯科学会学術集会&第9回日韓ジョイントシンポジウム」で、歯学部の湯川未郷助教(歯科矯正学分野)が、優秀演題賞を受賞した。この賞は日本矯正歯科学会から、我が国の歯科矯正学の教育・研究の進歩発展や矯正歯科医療の充実に優れた功績が認められた者に授与されるもので、この研究では矯正力負荷による歯の移動に伴う疼痛および炎症性サイトカインであるCINC-2発現の増加の抑制へのTRPチャネルの関与を明らかにした。

湯川助教は「大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。今後も微力ながら歯科矯正学の研究の発展に貢献できるよう努めてまいります」と受賞の感想を話した。

論文題名: TRPチャネル拮抗薬の歯肉塗布による歯の移動に伴う疼痛抑制とCINC2発現抑制



湯川助教

中国語スピーチコンテスト全国大会出場

外国語学部中国語学科の学生が10月から11月にかけて開催された日中友好協会主催の中国語スピーチコンテスト都道府県大会に出場し、優勝に相当する賞を受賞する輝かしい成績を収めた。

各大会での受賞内容は以下のとおり。

●埼玉県大会

朗読部門・大学生の部

希望賞受賞

外国語学部中国語学科2年

濱野美玖さん

●千葉県大会

朗読の部・大学生の部

船橋市長賞受賞

外国語学部中国語学科2年

佐藤音羽さん

●千葉県大会

スピーチの部・大学生の部

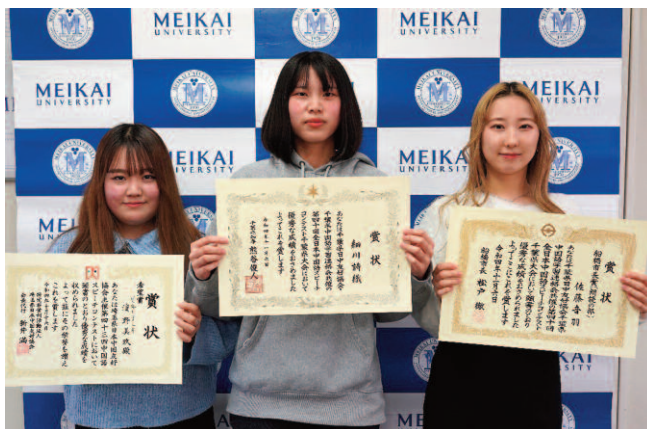
千葉県知事賞受賞

外国語学部中国語学科3年

細川詩織さん

3人はそれぞれ、県大会での受賞により各県の代表として全国大会出

場権を獲得。すでに録音審査が行われた全国大会での「朗読部門 大学生・大学院生の部」では、千葉県代表としてエントリーした佐藤さんが見事3位入賞を果たし「優秀賞」を受賞した。また、スピーチ部門は今年行われる第35回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会での発表によって審査される。スピーチ部門の千葉県代表として出場する細川さんは「これまでの練習の成果を発揮して、優勝をめざしてがんばりたい」と意気込みを話した。



左から濱野さん、細川さん、佐藤さん

教員採用 試験結果

令和4年度教員採用試験に12人が合格!

令和4年度に行われた教員採用試験（令和5年度採用）に、本学の学生と卒業生12人が合格した。本学では、1990年から外国語学部で中学校と高等学校の国語、英語、中国語の教員免許状を取得することができる教職課程を設置して教員養成に力を入れ、多くの優れた教員を社会に送り出してきた。こうした取り組みをさらに推進するため、2016年に「教職課程センター（METTS）」を設置し、免許状の取得に必要となる教職課程の履修、教育実習、教員採用

試験、赴任後に求められる授業実践力など、教職に関する様々な課題をトータルにサポートしている。センターの設置から6年、新型コロナウイルスの流行に振り回されつつも、学習機会を減らさないように少人数での面接対策やオンラインでのサポートに注力して、途切れることなく指導を続けたことが結実した。

東京都教員採用試験の中学校・高等学校（英語）に合格した関野玲佳さん（英米語学科4年）は「先生方の手厚いサポートのおかげで

合格することができました。卒業までの残りの期間は、教員になるという自覚をもって今まで以上に勉強に力を入れていきたいと思います」と喜びと意気込みを語った。



METTSの様子

足立区と連携

明海大学の教職課程センターでは、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村2022～小学生異文化交流プロジェクト～」を主催している。小学生に英語教育と異文化交流の機会を提供すると



天候に恵まれたため屋外でアクティビティ

あけみ英語村開催

ともに、本学の教職課程を履修している学生にとっては、教育の現場を体験することで、より深く教育について学ぶきっかけとなっている。

6月29日に足立区立舎人小学校、10月4日に足立区立栗原小学校を対象に開催した。舎人小学校からは5年生80人、栗原小学校からは4年生56人が参加し、本学の外国人留学生と英語を使ったコミュニケーションや異文化交流を楽しんだ。

英語コミュニケーションは、本学のパトリシア・ハヤシ教授とタイソ

ン・ロード准教授が担当。身体を動かしながら英語で「好きなもの」を聞くアクティビティでは、小学生の緊張もほぐれて笑いながら話す様子が見られた。

足立区とは、これまでも本学外国人留学生と小・中学生との交流会を継続的に開催し、生徒たちの英語学習に対する興味関心が高まるとともに、異文化理解が深まるなど、高い教育成果を上げてきた。

明海大学は、今後も足立区と連携した様々な取り組みを通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成にも貢献していく。

うらやすハニープロジェクト®のはちみつがふるさと納税返礼品に決定

ホスピタリティ・ツーリズム学部生がキャンパス内で行う養蜂活動「うらやすハニープロジェクト®」で採取したはちみつが浦安市のふるさと納税返礼品として認められた。

採蜜した日が異なる4種類のはちみつ各50gを4瓶1セットに組み合わせ「利き蜜セット」と銘打った。余計なものを一切加えず、煮沸処理などしていない天然はちみつのた

め、非常に高い抗菌性を持っており、時期によって咲く花々が異なることから、はちみつの匂いや味にも季節性が出ると語る学生からは、プロジェクトに携わる者としての自信がうかがえる。学生たちができるSDGsの取り組みを考案するなかで「浦安産ブランドの商品で浦安市の地域活性化に貢献したい」という発案がきっかけとなり始まった「うらやすハニ

ープロジェクト®」。これまでも学生が主体となって地域のイベントでの販売や近隣のホテルとのコラボ企画などを行ってきた。今後も学生ならではの発想でプロジェクトが充実していくことを期待したい。



利き蜜セット

第35回明海祭

浦安キャンパス学園祭「明海祭」が11月12日、11月13日の2日間にわたり、大学での実施とオンラインのハイブリッドで開催された。今回のテーマ「世界旅行～Go Beyond～」には、「コロナ禍という情勢下において様々な活動が制限されているなか、明海祭を通じて世界を感じよう、世界について学ぶ機会を増やそう、今までと違った学園祭を創り上げたい」という思いが込められている。

今年も千葉のFMラジオ局bayfmの人気番組「あしたの音楽」とのコラボレーション企画として、当ラジオ番組のパーソナリティーでソングラ

イタープロデューサーのShusuiさんとシンガーソングライターの曽根由希江さんによる公開番組収録が行われた。また、テーマに沿った世界各地の料理を提供するキッチンカーの出店、学生団体による模擬店出店やステージ発表が行われ、多くの方々がキャンパスを訪れた。なお、今年も地域交流の一環として、浦安市内の幼稚園、保育園及び認定こども園等の



学園祭実行委員会

子どもたちの作品展示やフリーマーケットなどを開催した。明海祭を終えて、学園祭実行委員長の渡辺渚稀さん（英米語学科3年）は「明海大学の学生、教職員の方々、地域の方々、多くの企業様のお力添えがあり、大変華やかな明海祭になった。日々当たり前のようにある出来事にたくさん感謝して、この経験を糧に精進していきたい」と話した。



子供たちの作品展示

第52回けやき祭

10月8日、坂戸キャンパスで「第52回けやき祭(学園祭)」が開催された。



チアリーディング部の発表

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染の拡大状況や来場される方々の健康と安全を第一に考え、一般公開はせず、通常2日間を1日に短縮し、本学学生と教職員のみで開催された。

今回のテーマは「PRIDE」として、各部活・同好会による作品展示やステージ発表のほか、恒例のビンゴ大会などのイベントが行われ、多くの学生で会場は賑わった。

けやき祭実行委員長の三木智仁

さん（歯学科3年）は、「いろいろな制限下での開催でしたが、今回各団体が発表する企画を増やしたことで、けやき祭全体が活気に溢れ、学生たちの楽しそうな様子が見られた。明海大学歯学部生としての誇りとけやき祭の伝統を絶やすまいとの気持ちで掲げた今回のテーマ「PRIDE」を、皆の力で具現化できたことが大変うれしい。この思いを次世代以降にも繋いでほしい」と話した。

浦安キャンパス 公開講座

パッケンマッケンが講演

本学では地域社会との交流を目的として、社会の関心が高く本学教員の研究領域とも関連する分野を中心に公開講座を開催している。コロナ禍を経て3年ぶりの開催となった今年度の浦安キャンパスでの公開講座は、各種メディアで活躍する「パッケンマッケン」を講師に迎え、11月12日に開催された。

会場に集まった約250人の参加者に向け、「パッケンマッケン グローバル人材のホント?!」をテーマに、

国や文部科学省が取り組むグローバル人材育成に関して、「グローバル人材、グローバル化ってよく聞くけど、本当のところ、どんな人材？ どういう世の中が来るの？」という疑問に対する視点で、パッケンマッケンが考えるグローバル人材について解説する講演を行った。

参加者からは「会場参加型で楽しみながら学ぶことができた」「かけあい漫才的にグロ

ーバルの勉強ができ、リラックスして楽しめた」「面白く聞けて英語への興味が強くなり、これからでもチャレンジしてみようと思った」との感想が聞かれた。



講演の様子

明海スポーツ

MEIKAI
SPORTS

全国大会で輝かしい結果

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会空手道部

第66回全日本大学空手道選手権大会 男子団体組手で創部以来初となる3位入賞!

11月20日、第66回全日本大学空手道選手権大会が日本武道館で開催され、本学体育会空手道部が全国3位入賞の結果を残した。2回戦から登場した本学は、大阪工業大学、3回戦では早稲田大学、4回戦では日本体育大学、5回戦では東日本大学空手道選手権で優勝した駒澤大学と戦い、見事粘り強さを発揮し勝利を収めた。そして準決勝では惜しくも近畿大学に敗れたものの、3位入賞と輝かしい結果を残した。

また、主将の高科涼太選手（経済学科4年／如水館高等学校出身）が優秀選手賞に選出された。高科選手は、「強豪校との試合では、一進一退



表彰式を終えて

の攻防が続いたが最後まで集中力を切らさず試合に臨むことができた。これからもより良い結果が得ら

れるようチーム一丸となって稽古に励んでいきたい」と語った。

体育会女子バレーボール部

第69回秩父宮妃賜杯 全日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト16の結果を残す!

11月29日から12月4日にかけて行われた「第69回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会」（以下、全日本インカレ）で女子バレーボール部がベスト16の結果を残した。

初戦は、高知工科大学に3-0のストレートで勝利し、順調なスタートを切った。続く2回戦は、新潟医療福祉大学と対戦し、3-0のストレートで勝利を収めベスト16入りを決めた。ベスト8をかけた戦いは、九州1部リーグ優勝の強豪、鹿屋体育大学と対戦し、善戦はしたものの0-3と惜敗。しかし、全日本インカレ初出場でベスト16と素晴らしい結果を残した。

なお、女子バレーボール部は2022

年度関東大学バレーボール秋季リーグ4部では、1セットも落とすことなく全勝で3部昇格を決めている。

キャプテンの花井雅選手（日本語学科4年）は、「創部1期生で4年間キ

ャプテンを務めてきたが、コロナ禍で思うように活動ができず、4年次に関東1部昇格という目標には届かなかった。しかし、全日本インカレに出場し、明海大学の名を全国に示せたことは、監督、大学関

係者の支えがあったの結果だと思うのですべての方々に感謝したい。そして、来年こそは後輩たちが関東1部、全日本インカレ優勝を勝ち取ってくれると期待している」と語った。



全日本インカレの試合会場

オープンキャンパス結果報告

浦安キャンパス

10月23日、浦安キャンパスで今年最後のオープンキャンパスが開催された。受験生のための対策講座に重点を置き、総合型選抜（AO）対策講座、学校推薦型選抜（指定校）対策講座を実施した。入試直前とあって、真剣な表情で耳を傾け熱心にメモを取



浦安キャンパスの様子

る参加者の姿が見られた。

また、12月18日には一般選抜対策講座と個別相談を実施。代々木ゼミナールの講師を招いて、一般選抜の国語と英語について過去問題テキストを使いながら解説した。受験生からは「試験日までの残りの期間で何を勉強したらよいか具体的なアドバイスがもらえてとても参考になった」と感想が聞かれた。

坂戸キャンパス

坂戸キャンパスでは、10月9日、12月4日にオープンキャンパスが開催された。

12月4日には、一般選抜対策講座を実施。河合塾の講師が赤本を使用

し、歯学部的一般選抜の必須科目である英語と選択科目の数学をわかりやすく解説した。

これをもって歯学部のオープンキャンパスは全日程が終了したが、参加できなかった高校生のために公式ホームページで各種プログラムの動画を公開し、オンライン相談を受け付けている。



坂戸キャンパスの様子

2023年度入学試験日程一覧

浦安キャンパス 外国語学部／経済学部／不動産学部／ホスピタリティ・ツーリズム学部／保健医療学部

入試区分名	出願期間	試験日	合格発表日
一般選抜	統一試験 A日程 全学科	1月5日(木)～1月18日(水)	2月1日(水)
			2月2日(木)
	B日程 全学科		2月3日(金)
		2月7日(火)～2月17日(金)	3月1日(水)
大学入学共通テスト 利用選抜	A日程	1月5日(木)～1月18日(水)	2月10日(金)
	B日程	2月7日(火)～2月17日(金)	3月9日(木)
	C日程	2月21日(火)～3月7日(火)	3月17日(金)

※ホスピタリティ・ツーリズム学部グローバル・マネジメントメジャーの一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜は、別途面接があります。

[面接日：A日程 2/3(金)、B日程 3/2(木)、C日程 3/16(木)]

※保健医療学部口腔保健学科の大学入学共通テスト利用選抜は、別途面接があります。[面接日：A日程 2/3(金)、B日程 3/2(木)、C日程 3/16(木)]

坂戸キャンパス 歯学部

入試区分名	出願期間	試験日	合格発表日
一般選抜	A日程	1月7日(土)～1月18日(水)	1月24日(火)
	B日程	2月6日(月)～2月21日(火)	2月26日(日)
一般選抜 (共通テストプラス方式)	A日程	1月7日(土)～1月18日(水)	1月24日(火)
	B日程	2月6日(月)～2月21日(火)	2月26日(日)
大学入学共通テスト 利用選抜	A日程	1月7日(土)～1月18日(水)	1月14日(土)・15日(日) (大学入学共通テスト) 1月24日(火)(面接試験)
	B日程	2月6日(月)～2月21日(火)	1月14日(土)・15日(日) (大学入学共通テスト) 2月26日(日)(面接試験)
	C日程	2月27日(月)～3月9日(木)	1月14日(土)・15日(日) (大学入学共通テスト) 3月16日(木)(面接試験)

詳細は必ず入学者選抜試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。 <https://www.meikai.ac.jp>

